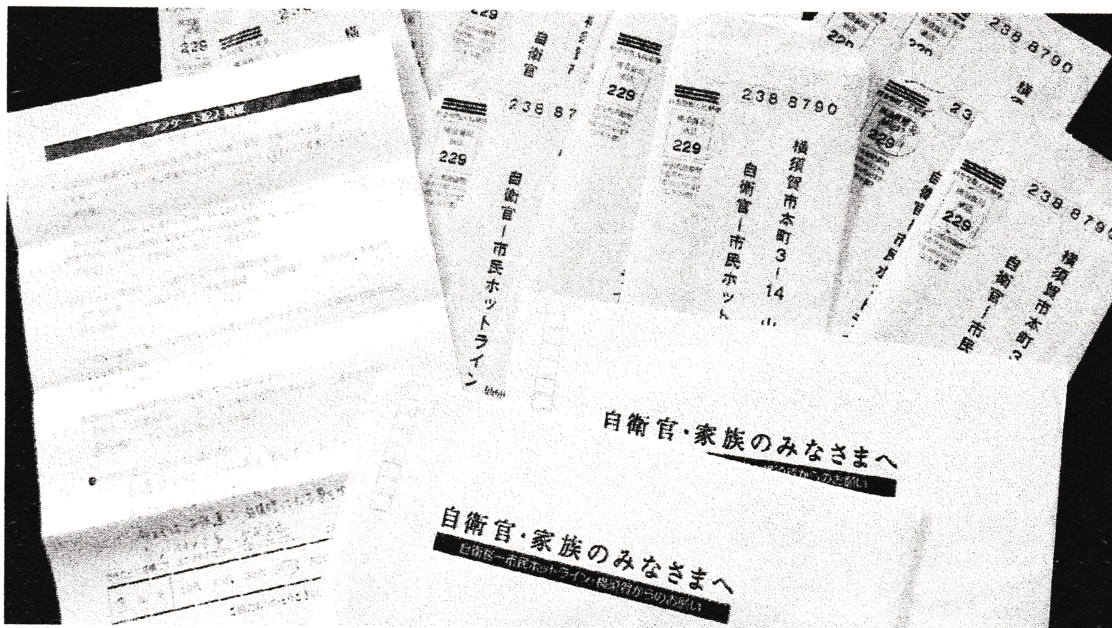


第4次「自衛官-家族アンケート」 集計報告(2015年夏に実施)



●2015年8月下旬、横須賀市内の自衛官官舎1334戸へ、アンケートのお願いを投函した。返信は22通。第1次と比べると1.8倍に増えた。回収率は1.6%。22通のうち、13通が自衛官ご本人、9通がご家族。自衛官の年齢は、20代5名、30代4名、40代3名、50代1名。所属は海自5名、陸自2名、空自3名、不明が3名だった。

2015年夏 自衛官家族から 届いた声

■国家公務員だとか、自衛官だとか、その時々で使い分けをしてほしくない。そもそもあなたたち誰？ 本当に私たち家族の心配をしているなら、がんばって働いている主人の給料を上げて。

■自衛官を戦地へ送るなどということは、二度と戦争を起こさせないためにも避けてほしいと思います。

■憲法9条の改制を早々に望んでおります。今の時代に全く合っていない9条は早く改制(ママ)すべきと思うのは、自衛官関係者なのだけ

でしょうか。

■私達以上にいろいろと考えてくれていてありがとうございます。今までは子供たちに自衛官になる事をすすめる事は出来ましたが、今は、すすめる事は出来ません。

●
2015年夏、横須賀市内1334世帯の自衛官官舎に「手紙」を届け、「自衛官・家族アンケート」をお願いした。その年の12月31日までに返ってきたアンケートは自衛官ご本人・家族合わせて22通。上に紹介したのは、アンケートに添えられたご家族の記入意見。

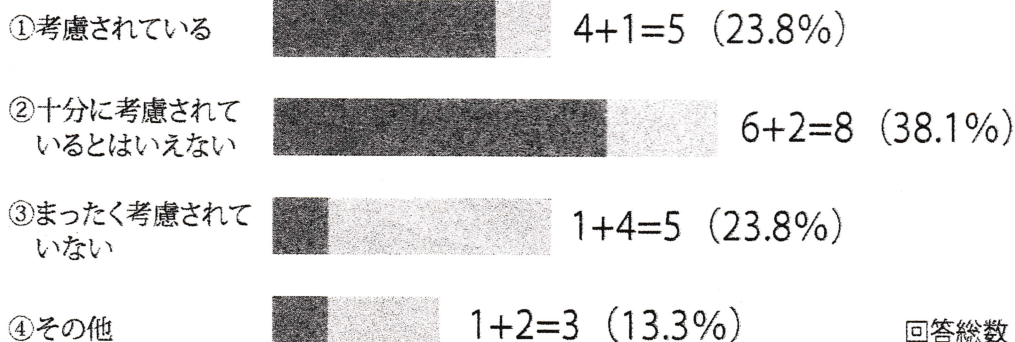
私たちに厳しい意見もある。不安な思いもある。わずか4件ではあるが、そのなかからも様々な「自衛官の今」が見えてくる。

第4次自衛官—家族アンケート集計 (2015.8、横須賀)

2015年夏に実施した自衛官・家族アンケート
1344通を投函し、22通の回答があった。

1 安保法制の審議で、自衛官や家族の気持ちや現場の事情が考慮されたと思いますか。

■ 自衛官本人
■ 自衛官家族



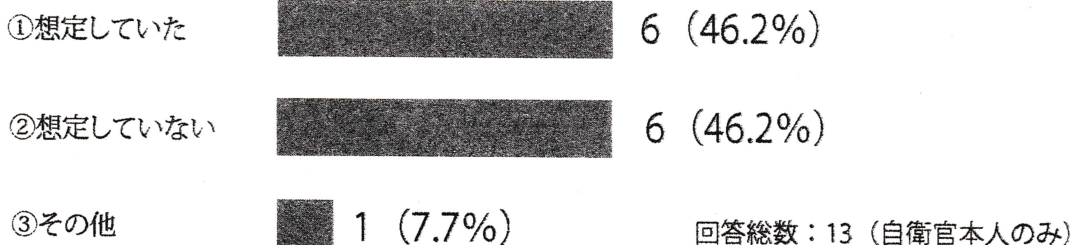
「十分に考慮されていない」「まったく考慮されていない」を合わせると、約62%が自衛官や家族の気持ち、現場の事情が考慮されていないと答えた。家族(妻)は、回答の半数が「まったく考慮されていない」だった。

自衛官に新たな任務を強いる安保法制の成立に関し、半数以上の自衛官や家族が、「考慮されていない」と答えていることに、注目したい。

「その他」の3件は、「しかたがない」、「国防優先」、「考慮に必要がない」だった。

2 新たな安保法制では、自衛隊の任務が拡大されます。あなたが自衛隊に入った時、日本の防衛ではなく、外国の軍隊の支援で海外に行くことを想定していましたか。

●自衛官本人のみの回答

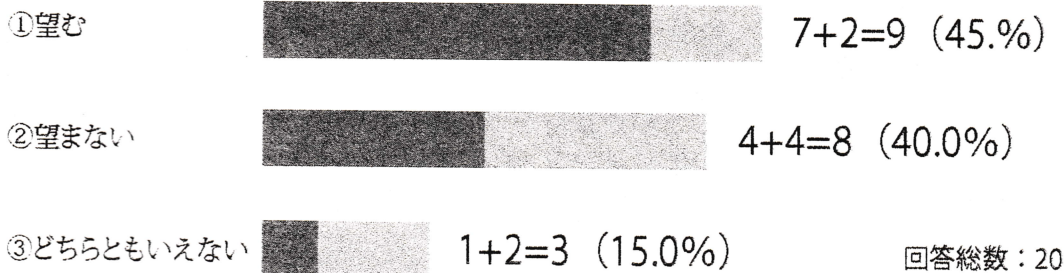


「外国の軍隊の支援で海外に行くこと」を「想定していた」が6名、「想定していなかった」が6名と同数だった。約半数の自衛官が他国軍の支援で海外に行くことを「想定していなかった」と考えていることを、しっかり受け止めたいと思う。

3 あなたが自衛官になった目的はなんですか。 (複数回答可)

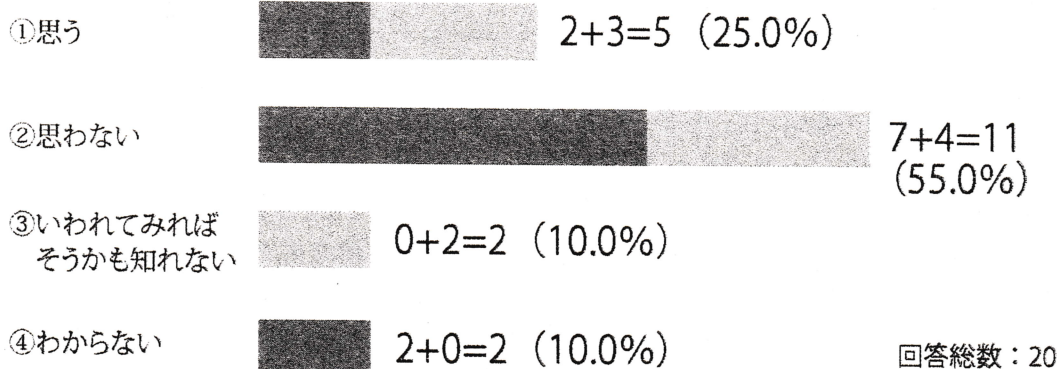
入隊目的に関して、複数回答される方が多かった。4項目を選択した方も多く、入隊目的はひとつだけ、という方は少数だった。
「国土防衛」が7件で一番多く、「国民を守る」と「やりがい求めて」が6件で、次に多かった。「国際協力」が5件で、「災害救援」は4件だった。
その他の2件は、「たまたま」、「社会的安定性」だった。

4 「自民党改憲草案」には、自衛隊を国防軍にするとあります。 あなたは自衛隊が国防軍になることを望みますか。



自衛官・家族の合計で「望む」が9人、「望まない」は8人だった。
家族の答えで最も多かったのは「望まない」(50%)で、「望む」は25%だった。

5 憲法9条が自衛官のいのちを守っていると思いますか。



他の設問とくらべると、「思わない」と答えた自衛官・家族が11名と多かった。
「思う」は25.0%、「思わない」が55.0%だった。
設問が不十分だったので、「思わない」理由が「自衛官を守る必要がない」ということなのか、9条に「守る力がない」ということなのか、判断は難しい。